

別議第1023号
令和7年2月28日

別府市長 長野恭紘 様

別府市議会議長 加藤 信 康



令和6年度 市民と議会との対話集会における提言について

別府市議会では、議会基本条例の理念に基づき、議会の説明責任を果たし、また、市民との意見交換を行うことにより市民に開かれた市議会を目指すことを目的に、各常任委員会が3班に分かれ、各委員がそれぞれのテーマで市民との意見交換を行いました。

意見交換の概要は別紙のとおりですが、このうち、議会として重要と認められる内容をまとめたものを下記のとおり提言いたします。

つきましては、下記内容を参照のうえ、別府市の考えや今後の方向性等について、令和7年3月25日(火)までに回答いただきますようお願いいたします。

記

1 提言内容

(1) 障がい者や高齢者を含む災害時要配慮者が、不自由なく利用できる避難場所づくりについて【総務企画消防委員会】

障がい者の障がいの程度は、個人により様々であり、生活に必要な配慮もさまざまである。

例えば、排便に関しても身体的な機能により、1時間以上も時間が必要な者もいる。

そのような中で、公の福祉避難所の必要性はあるものの、一般避難所との垣根のない、誰もが利用できる避難所が理想と考える。

よって、災害時における要配慮者が実際に訓練を通じて検証を行うことで、個別に必要な避難所の指定や配慮が必要な整備に努めていただきたい。

特にトイレについては、増設を含めて、誰もが不自由なく利用できるものを整備することに努めていただきたい。

→防災危機管理課

(2) 別府市の建設業の現状と課題について【観光建設水道委員会】

公共工事発注時の予定価格については、公の積算基準等に基づき積算されるものと理解している。

物価や社会情勢を考慮していることは認識しているものの、少子高齢化による人材の確保は非常に困難な状況にある。

建設業協会に属する各社は、自治体のインフラ整備、災害対応においても地域の守り手として社会に貢献する役割を担っている。

世界的に社会情勢が不安定な中で、地元企業の存続・事業継承は喫緊の課題だと考えている。

よって、人材の確保及び労働環境の維持保全を行うためにも、公共工事の予算確保と受注機会の拡大に努めていただきたい。

→都市計画課

(3) 障害福祉サービスを提供する事業所での人手不足問題について【厚生環境教育委員会】

福祉の仕事は、他の業種に比べて人材不足が深刻な問題になっている。

離職者の理由等を調査し、原因を究明することが必要であるが、労働環境の処遇改善が一番の解決策と考える。

特に、障害福祉サービスの事業者は、国、県、市の補助金を頼らざるを得ない状況であるため、経営の実態は非常に厳しい現実がある。

議会としても、相談件数等について、調査研究を行い、現場の声に耳を傾け、関係者と協力し、ヘルパーの人材不足に関する意見書等を国へ提出することを検討するが、別府市としても調査・研究を含め独自の課題解決に向けて取り組んでいただきたい。

→障害福祉課

対話集会について(概要)

議会活動に関する情報を積極的に公表し、透明性を高めるとともに、説明責任を十分に果たすこと、また、市民との意見交換の場を多様に設け、議員の政策立案能力を強化するとともに、政策提案の拡大に努めることを目的に、平成 25 年度より「市民と議会との対話集会」(議会報告会)を開催しています。市議会議員が市内の公民館等に出向き、議会活動の報告及び市民の皆様との意見交換をさせていただくことで、開かれた議会の実現に努めています。

■令和 6 年度 市民と議会との対話集会について

1 実施期間 :令和 6 年 10 月 8 日~11 月 11 日(3 日間)

2 対話実績

実施日	担当	対話先/『テーマ』	参加者数
10/8(火)	観光建設水道委員会	大分県建設業協会 別府支部 『別府市の建設業の現状と課題について』	8 名
10/21(月)	厚生環境教育委員会	福祉フォーラム in 別府速見実行委員会 『障害福祉サービスを提供する事業所での人手不足問題について』	9 名
11/11(月)	総務企画消防委員会	NPO法人 自立支援センターおおいた 『障がい者や高齢者を含む災害時要配慮者が、不自由なく利用できる避難場所づくりについて』	5 名

3 今回の提言内容

- ① 障がい者や高齢者を含む災害時要配慮者が、不自由なく利用できる避難場所づくりについて【総務企画消防委員会】
 - ・現在の一般避難所及び福祉避難所に、不自由なく利用できるトイレの増設の検討について
 - ・個別避難計画の作成後の実証・検証訓練の検討について
- ② 別府市の建設業の現状と課題について【観光建設水道委員会】
 - ・地元企業が存続・事業継承をしていくため、適切な公共工事発注予算確保等の検討について
- ③ 障害福祉サービスを提供する事業所での人手不足問題について【厚生環境教育委員会】
 - ・ヘルパーの人手不足等の問題について、別府市独自の政策の検討について

4 過去の実績

年 度	テーマ等	日 数	場 所	参 加 者
平成 25 年度	市政全般に関すること	6 日間	地区公民館(6 会場)	223 名
平成 26 年度	市政全般に関すること	4 日間	地区公民館等(8会場)	254名
平成 27 年度	市政全般に関すること	7 日間	地区公民館等(13会場)	291名
平成 28 年度	・地区の未来 ・18 歳選挙権、 ・学校について	3 日間	市内中学校(3 校)	58 名
平成 29 年度	・別府の輝くまちづくり ・30 年後の別府市の構想、別府の 未来について(少子高齢化社会 の対応、観光の未来、自然災 害) ・別府のまちづくりと人づくり	4 日間	市内中学校(3 校)	85名
平成 30 年度	・消防団の活性化」 ・別府市での生活～定住に向けて ～ ・障がい者の就労と雇用	3 日間	消防本部、大学、市内事 業所	61名
令和 元年度	・将来の別府に希望すること ・別府市の活性化 ・議会の役割 ・これからの別府に必要なこと	4 日間	市内高校(4 校)	144 名
令和 4 年度	・コミュニティバスの運行について ～持続可能な公共交通の実現～ ・コロナ禍における商工会議所の 取組・今後の展望について ・子ども食堂について ・ベビーファースト宣言について	4 日間	内成自治公民館、別府商 工会議所、別府溝部学園 短期大学、別府市公会堂	43名
令和 5 年度	・別府市の交通に関する現状、課 題及び持続可能な交通体系につ いて ・別府観光のあり方について ・別府市の救急医療体制について ・若者の政治参加や選挙制度につ いて	4 日間	別府市役所(2回)、別府 大学、別府市医師会館	61 名

※令和2年度及び令和3年度は新型コロナウイルス感染拡大防止のため非開催